栄東まちづくり協議会・委員会議事録

日 時 平成 29 年 11 月 9 日 (木) 18 : 30 ~ 20 : 15

場 所 栄東まちづくり協議会・会議室

出席者 委員：辻本会長、田端・萩野下副会長、林、臼井、野田、六角、酒井、前田、井上、犬飼

監事：河田

傍聴人 4 人

● 定足数の確認

11 人中 10 人の出席で規約第 11 条第 2 項の規定（在籍会員の過半数の出席）により有効に成立

● 議題及び報告事項

議題：

- 1 協議会会員が役員に就いている法人との契約に関する定め
- 2 部会の組織、運営に関する規定
- 3 契約審査会
- 4 NTT グループとの包括連携協定の締結

報告事項：

- 1 栄東地区街灯モデル整備
- 2 防犯カメラ完成披露と防犯パトロール
- 3 池田公園再整備構想策定
- 4 その他

● 議事要旨

議題：

- 1 協議会会員が役員に就いている法人との契約に関する定め
原案のとおり、12 月の総会で規約改正を提案することとなった。
- 2 部会の組織、運営に関する規定
 - ・ 我々も今までやったことのないことをやってきている。歩きながら進めていって、変更する必要がでてきたら、規定を変えていけばいいと思う。
 - ・ 部会でどのような事業に取り組むかなどは地域主体で議論して、委員会、総会にあげて意思決定していくとして、その制度としてどのようなものかという視点で関係部署で検討していく。

原案のとおり、本日の案をたたき台にして行政内部で法制執務などの技術的な検討も加え、12 月の総会に成案を提出することとなった。

3 契約審査会

- ・ 安くて、公平性が保てて、開かれた形で契約事務を進めていきたいということは必要であるが、あまり細かく決めても事務が煩雑になり、業務量増になってもいけない。
- ・ 名古屋市に準じてやると言っても、名古屋市の膨大な契約事務手続要綱の中からどのように適用していくのかという解釈、判断は難しい。基本的には契約事務は事務局、会長以下の責任で進めることになるが、そこに準則的なルールを定めて、誰がやっても同じように公正な手続で進め

ることができるようにしておきたい。

- ・ 行政の意見も伺って進めていきたいが、すぐに決めないといけないというものではない。

原案にしたがって、行政のアドバイスも受けて、規定整備を進めることとなった。

4 NTTグループとの包括連携協定の締結

- ・ 包括連携協定を締結したからといって、双方に直接的に経済的負担が伴うものでもなく、NTTグループと随意契約する根拠となるものでもない。あくまでNTT側としてはICTの技術力をフィールドで生かす機会を得たい。協議会としても事業に何か生かせるものがないか検討していきたい。
- ・ この協定で債務、義務の発生もない、契約行為についても優先権は発生しないということであれば問題はないと思う。

原案のとおり、協定を締結することとなった。

報告事項：

- 1 栄東地区街灯モデル整備
- 2 防犯カメラ完成披露と防犯パトロール
- 3 池田公園再整備構想策定
以上、質問、意見なし。
- 4 その他
提案、意見なし。